

情報化施工研修会の紹介

国土交通省が開催する『情報化施工推進会議』から「情報化施工推進戦略」が発表（7月末）されました。その中では、情報化施工の普及のための重点課題のひとつに「人材育成」が上げられています。（社）日本建設機械化協会は、情報化施工に関わる人材を育成するため、「情報化施工研修会」を昨年7月以降に第1回～第7回を開催致し、今後も、1～2ヶ月に1回の頻度で開催予定であり、逐次ご案内致します。

目的

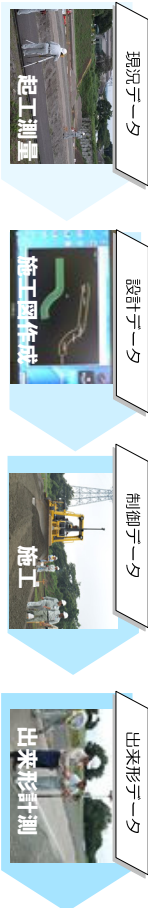
3次元データを利用した建設機械制御に関する基本的な教育を実施し、実践的な活用（制御データの作成、マシンコントロール（MC）、ICT施工管理）が出来る技術者を育成します。

研修目標

現場施工での活用

各施工段階の技術を習得
「情報化施工研修会」

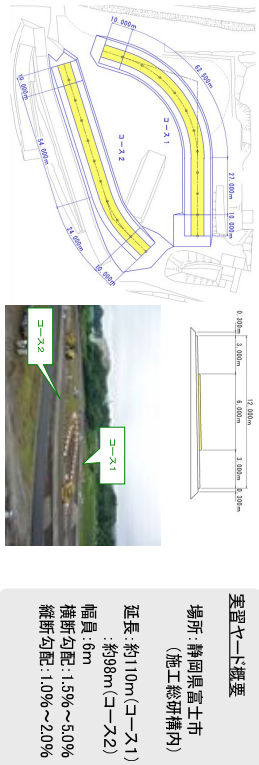
研修会風景



研修内容

コース名	研修概要	主な研修内容	備考
体験コース (1日制) 定員：20名	<ul style="list-style-type: none"> MCを用いた施工概要の把握（シミュレーションや動画、適用した実機施工の取組体験） ICT設計データの活用方法、出来形管理名実習 	<ul style="list-style-type: none"> 情報化施工の動向（マシンコントロール/MC）とは マシンコントロール作成の概要 MC体験 	
実務コース (2日制) 定員：20名	<ul style="list-style-type: none"> MC用データ作成からMC施工に至る一連の流れを実習 設計データを搭載したITSを用いた制御データの活用方法、出来形管理名実習 	<ul style="list-style-type: none"> 情報化施工の動向（マシンコントロール/MC）とは マシンコントロール作成の概要 MC体験 測量実地データ活用 MC用データ作成 MCのハード設定 MC施工実習 	<ul style="list-style-type: none"> 研修用/パソコン、データ作成ソフトが利用可能 を走行

実習ヤード



<研修会の予定>

2009.7.16-17、2009.9.10-11

この後も順次実施します。

特徴(1)：作成したデータで建設機械をコントロール

座学にて設計データの作成方法を学び、受講者自ら作成したデータによりICT施工を行います。

特徴(2)：スレッツ付き建設機械を導入!!

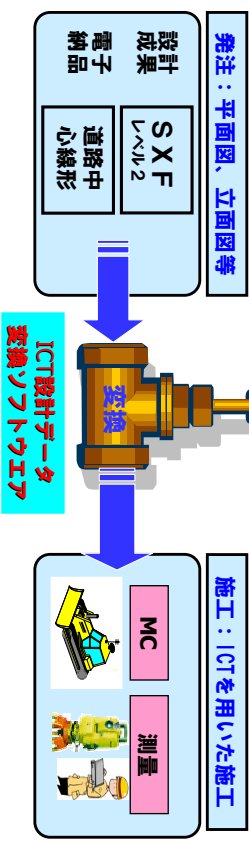
スレッツ付きブルドーザを導入して、作業をしながら説明が可能となります。また、免許なしの方でも乗車出来ます。



特徴(3)：効率的なデータ作成技術の習得

図面データ(SXF レベル2)等を読み込み、現場測量や機械施工で活用できるデータ (ICT設計データ)に変換するソフトウェア(H20開発)を利用して効率的にデータを作成することが出来ます。

開発ツールのイメージ

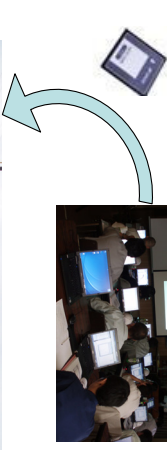


研修会の詳細、お問い合わせは、下記ホームページにアクセス

社団法人 日本建設機械化協会 <http://www.jcma.net.or.jp/>

” 施工技術総合研究所 <http://www.cni.or.jp/>

設計データ



平成20年度建設技術研究開発助成制度
「図面データを直接利用したICT監督業務支援ツールの開発」